

* 精子提供者を募集するためのコンテンツです。

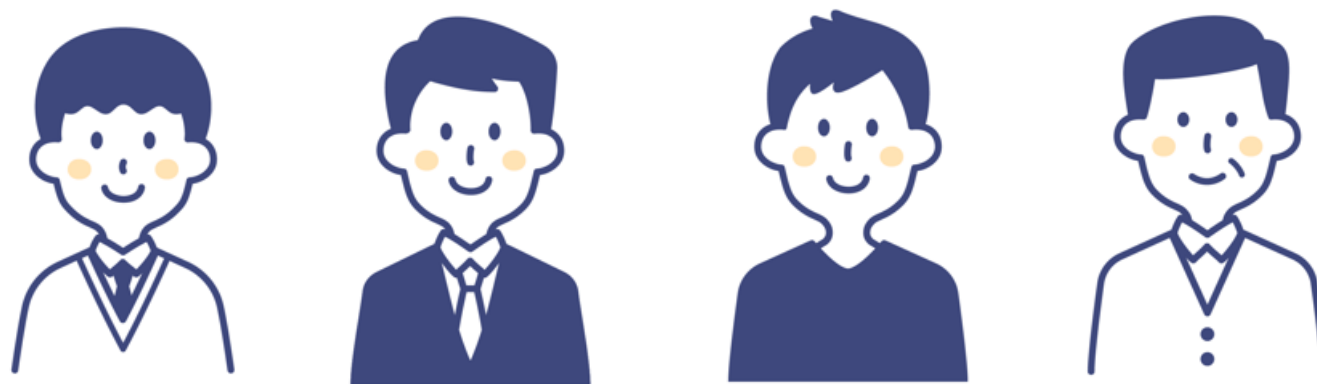
精子提供

最先端の医療で、最短の妊娠を



はらメディカルクリニック

無精子症・・・精液中に精子が全く見られない状態



現在、日本人男性の約1%が無精子症と言われています。

無精子症であっても射精は可能です。精液も通常通り排出します。
でも、排出された精液の中に精子はありません。

無精子症と診断されると



これまでの、自信も実績も全てが崩れ落ちていく衝撃

自分の体がどうなっているのか、生きていくことの不安

最先端の医療で、最短の妊娠を

無精子症と診断されると



精巣（幸丸）の中には精子があるかもしれません。手術を試みましょう。



この手術を「精巣内精子回収術」といいます。精巣内に精子があれば、顕微授精という方法で夫婦の子どもを授かることができます。夫婦は祈るような気持でこの手術に臨みます。

最先端の医療で、最短の妊娠を

無精子症と診断されると

精巣内精子回収術で精子を見つけられる確率は30%前後

* 非閉塞性無精子症の場合

この手術をしても、精巣内に精子が見当たらない場合は、
絶対的男性不妊となります。



その原因は、生まれながらの遺伝子の欠損や
脳の疾患など、現代の医療では治療法がない
ことがほとんどです。

最先端の医療で、最短の妊娠を

 はらメディカルクリニック

絶対的男性不妊と診断されると



- ・ 自分と血が繋がった子どもを持つことはできないという絶望感
- ・ 妻に申し訳ない
- ・ 誰にも話せない孤独感。アイデンティティの喪失



- ・ 混乱と悲しみ
- ・ 夫の精神面への心配
- ・ 自分の辛さを夫に見せてはいけなさと、気持ちを抑え込む

夫婦二人で、この危機を乗り越えていく

二人が子どもを持てる方法はないのか？

最先端の医療で、最短の妊娠を

絶対的男性不妊の夫婦の選択

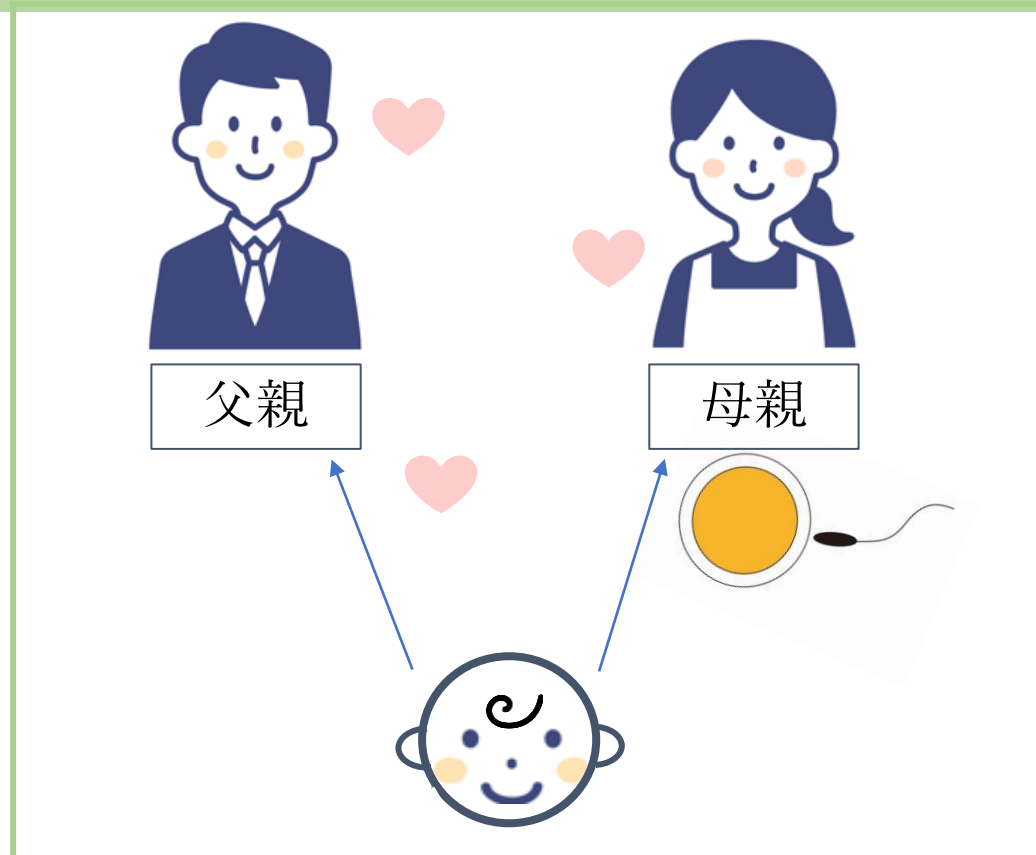
1. 提供精子による生殖医療という選択
2. 養子縁組という選択
3. 子どもをもたないという選択

絶対的男性不妊の夫婦の選択

1. 提供精子による生殖医療という選択
2. 養子縁組という選択
3. 子どもをもたないという選択

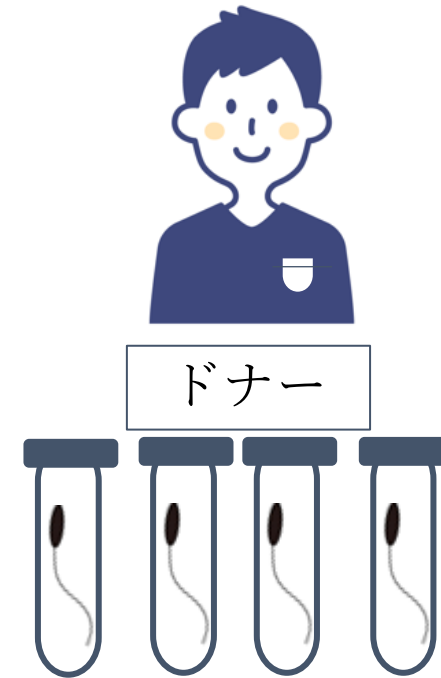
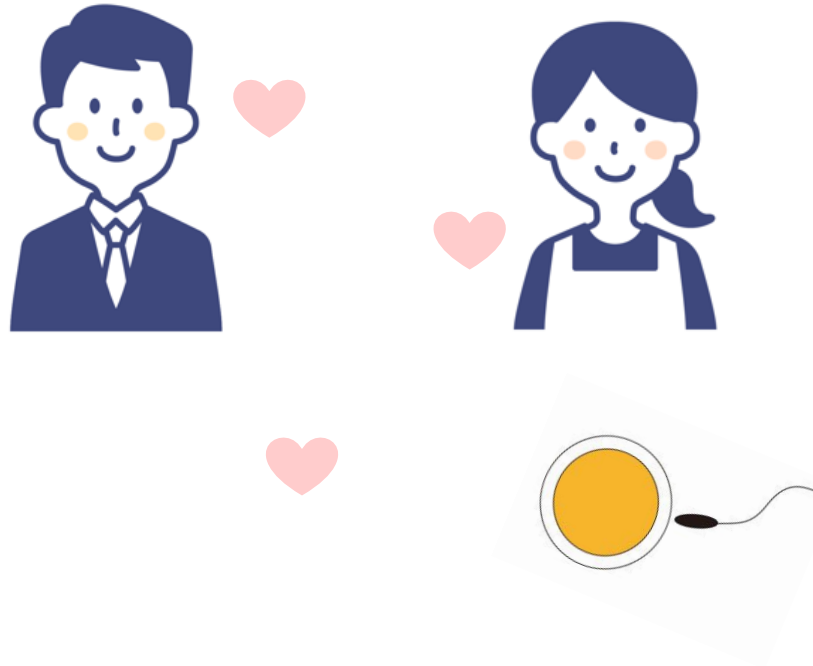
絶対的男性不妊の夫婦の選択

1. 提供精子による生殖医療という選択



女性の排卵日に合わせて、予め凍結しておいた提供精子を融解して治療に使用します。ドナーと患者が会うことはありません。

1. 提供精子による生殖医療という選択

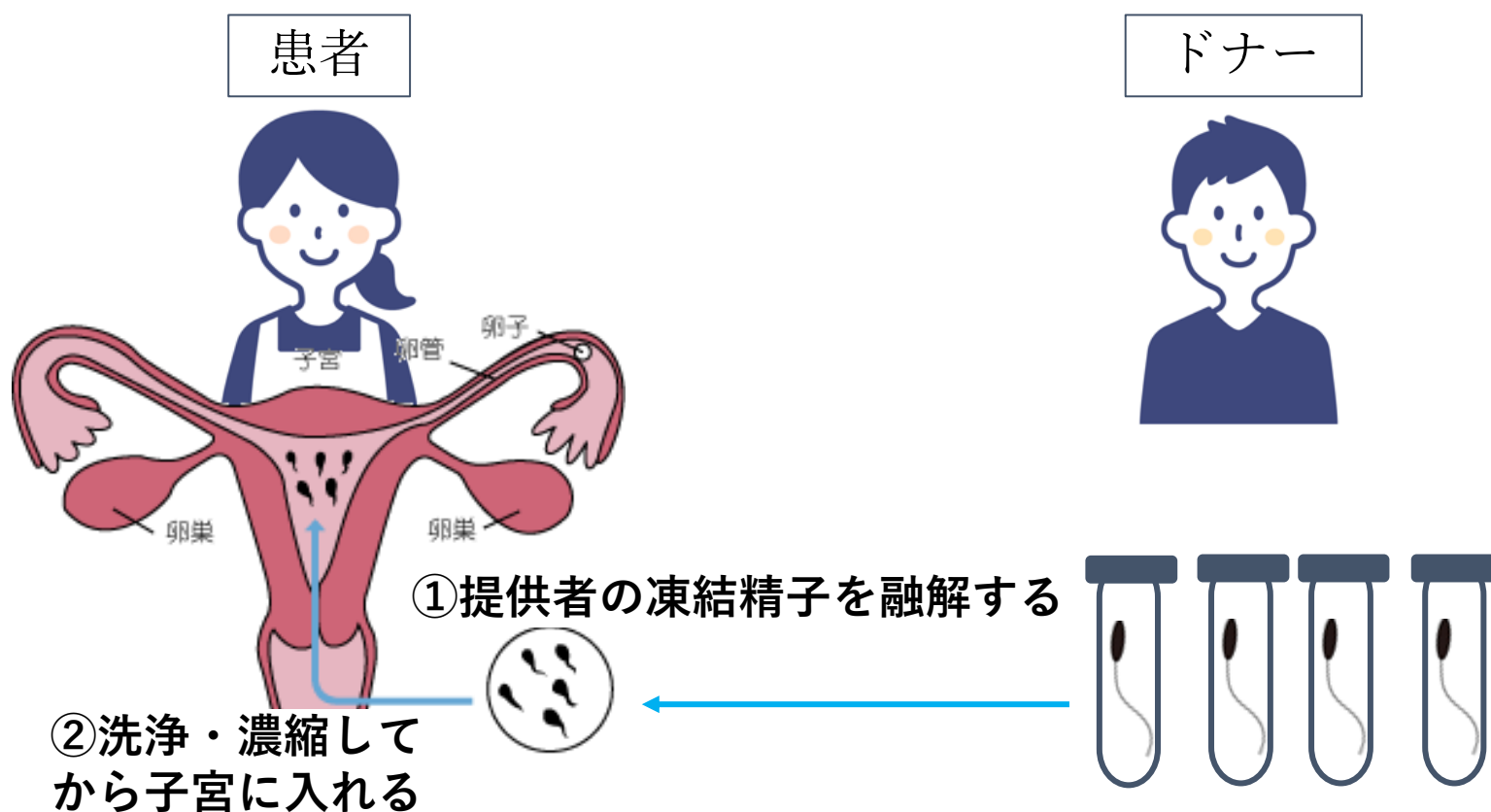


最先端の医療で、最短の妊娠を

提供精子による治療の方法は2種類

1. 人工授精（AID）

子宮の入り口から管を入れて提供精液を子宮内へ直接注入する方法。



提供精子による治療の方法は2種類

2. 体外受精 (IVF-D)

卵巣から卵子を採取し、体外で提供精子と受精させ、再び女性の体内に戻す方法



提供精子による生殖医療 を受ける患者夫婦について



最先端の医療で、最短の妊娠を

 はらメディカルクリニック

提供精子をうける患者の条件



✓ 法的に婚姻している夫婦であること

- ・ 事実婚カップル
- ・ レズビアンカップル
- ・ 選択的シングルマザー

上記の方は対象ではありません。

提供精子をうける患者の条件

男性側

- ✓ 無精子症で、精巣内精子回収術を行っても精子を回収できないなど絶対的男性不妊の場合
- ✓ 精子に受精能力がないと診断される場合
- ✓ 性別変更により女性から男性になり、精巣機能を有していない場合

提供精子による生殖医療以外に子どもを授かる方法はないという診断が必要

提供精子による生殖医療を受ける患者の条件

女性側

- ✓ 人工授精の場合は、卵管の通過性があり、女性側に問題がない場合。体外受精の場合は、体外受精を行う医学的理由がある場合
- ✓ 妊娠しない原因が、加齢ではない場合
- ✓ これ以外の方法での妊娠をはかった場合に母体や児に重大な危険が及ぶと判断されるものが対象

患者が提供精子による生殖医療を受けるまでの流れ

提供精子による生殖医療実施の申し込み



夫婦それぞれの診断書、戸籍謄本、身分証明書、提供精子による生殖医療申請書の提出



初診



提供精子による生殖医療に関する書籍・動画による学習

提供精子による生殖医療を受けるかどうか、生まれる子どもへの告知などについて夫婦で十分な話し合いを行い、それらについて書類を記入



カウンセリング



倫理委員会へ申請



倫理委員会承認の場合は、治療開始



倫理委員会非承認の場合は、治療不可

精子提供者とは

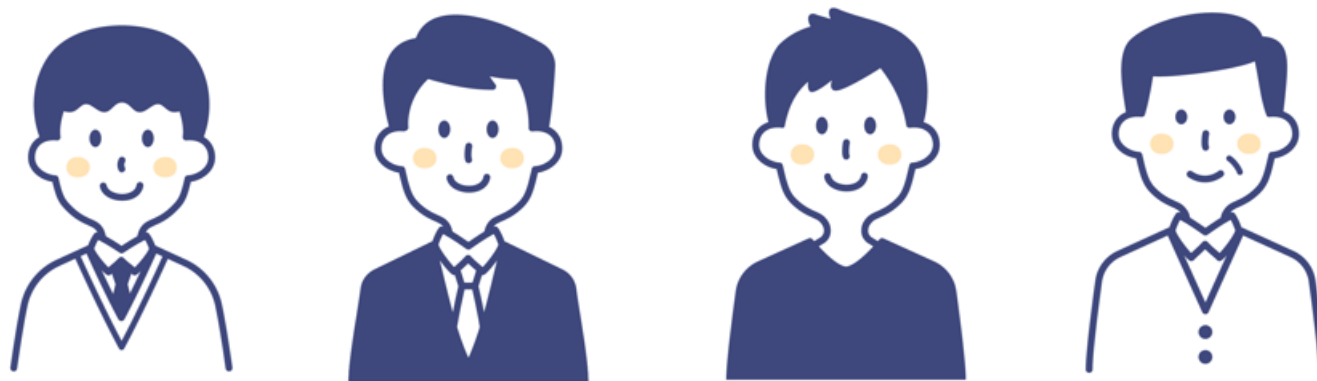


最先端の医療で、最短の妊娠を



はらメディカルクリニック

あなたの周りにも、きっと無精子症の人がいます

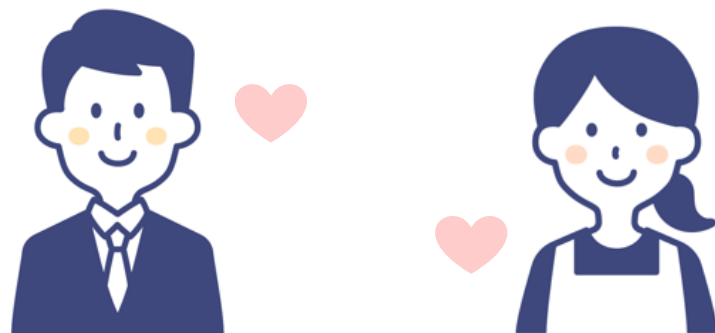


現在、日本人男性の約1%が無精子症と言われています。

無精子症の夫婦が子どもを持つためには、
精子を提供してくれる人がたくさん必要です。

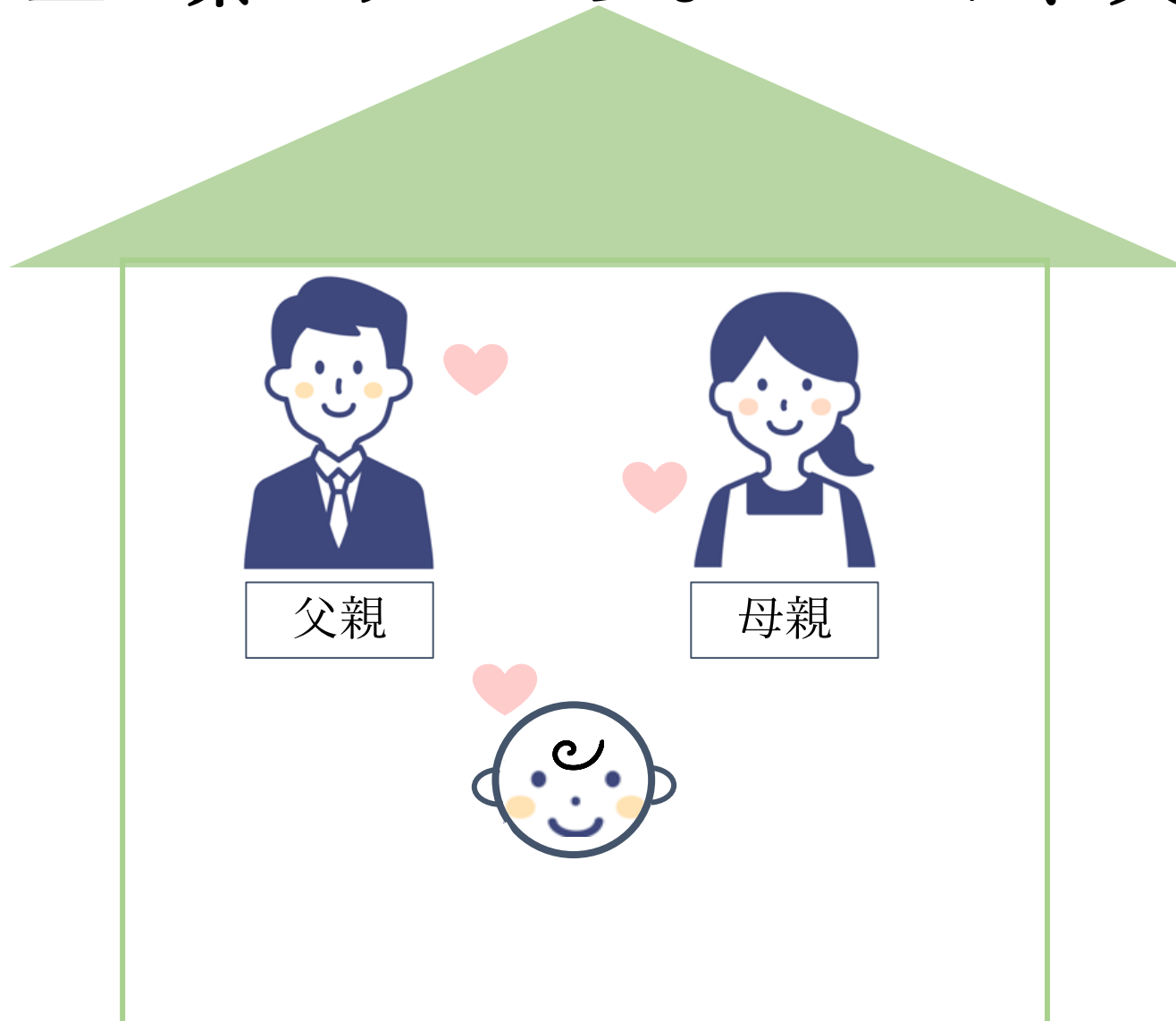
最先端の医療で、最短の妊娠を

あなたの周りにも、きっと無精子症の人がいます



無精子症という大きな夫婦の危機を乗り越えた絆の深い二人は、
あなたが提供してくれる精子のお陰で、子どもを持てるかもしれません

家族に血の繋がりは必要ありません。
愛に血の繋がりがいらなことは、夫婦が一番知っています



ドナー

- ・子どもの扶養義務、権利はない
- ・子どもとの親子関係はない

最先端の医療で、最短の妊娠を

そのかけがえのない家族は、精子提供をしてくれるドナーの理解と協力無くしては成り立ちません



ドナーへの感謝の言葉

精子を提供してくれたドナーに感謝の気持ちを伝えたいと考えている夫婦が多くいます。

ドナーさんが提供して下さった精子は、大事な娘の命の一部です。

ドナーさんは命の恩人。

いくら感謝してもしきれません。

娘の誕生に私たち夫婦や私たちの親までもがどれほど大きな幸せをもらったことか。本当に、いままで味わったことのないくらい大きな幸せでした。

娘には、娘が望まれて望まれて産まれてきたこと、私たちがAIDにとってもとても感謝していること、そして命の一部をくださったかけがえのないドナーさんの存在についてなどを伝えていくつもりです。必ず、娘を幸せに育てていきます。

そしてドナーさんのこれからの人生も幸多きことを心より願っております。

本当に本当にありがとうございました。（30代・女性）＊一部抜粋

ドナーへの感謝の言葉

精子を提供してくれた方に感謝の気持ちを伝えたいと考えている夫婦が多くいます。

精子提供して下さった方、協力してくれた病院の方々のおかげで待望の娘が誕生しました。

夫婦の子どもが望めないと言われた日からこれまでに幾度も味わった絶望感、挫折感、流した涙が一気に吹き飛ぶくらいに心の隅々まで満たされた気持ちでいっぱいになりました。

ドナーになってくださった方のことは何もわからないけど、この場を借りてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。娘が私たちのもとを巣立つ時まで、すくすくと成長する姿を見守りながら、愛情をたくさん注いでいきます。

あなたさまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。（30代・女性）

ドナーへの感謝の言葉

精子を提供してくれた方に感謝の気持ちを伝えたいと考えている夫婦が多くいます。

無精子症を告知されたときの衝撃は、未だに忘れられません。それからの色の無い生活。二人でいきっていく選択を突然突きつけられ、なかなか受け入れられずに過ごす毎日。

夫から離婚を切り出されたのは初めてでした。

私たち夫婦が子どもを望むことはエゴなんじゃないかとか、たくさん悩みました。家族を作りたい。この気持ちとの葛藤の日々。

幸いにも子どもを授かることになり、本当にいま幸せです。なんてことはない忙しい毎日の生活がじんわり温かく、子どもの寝顔を見て、夫婦で「幸せだね」って話しています。こんな幸せを、ドナーの人や病院の協力がなければ私たちは得ることができませんでした。本当にありがとうございます。

流したたくさんの涙を忘れることなく、たくさんの方々の優しさを感じながら、わが子を大切に育てていきます。（30代・女性）

精子提供を行う条件



最先端の医療で、最短の妊娠を

精子提供者の条件

心身とも健康で、感染症がなく自己の知る限り遺伝疾患を認めず、
精液所見が正常である者

日本産科婦人科学会より

最先端の医療で、最短の妊娠を

当院の精子提供者の条件

(1) 健康男性であること

- 年齢は満20歳以上、満40歳未満
- 適正身長、適正体重
- 専門学校生、大学生、あるいはこれを卒業した者

(2) 生活

- たばこを吸ったことがない、あるいは、喫煙歴が合計1年以下であり、過去3か月以内ではないこと
- 麻薬や覚せい剤などの使用歴がないこと
- 犯罪歴がないこと

当院の精子提供者の条件

(3) 精子所見

- ・精子所見が良好であり、WHOの基準を満たしていること

(4) 感染症

次の感染症が全て陰性で、既往もないこと。また、これを6ヶ月ごとに継続的に検査すること

- ・B型肝炎
- ・C型肝炎
- ・エイズ検査(HIV1/2)
- ・梅毒
- ・HTLV1
- ・クラミジア検査

当院の精子提供者の条件

(5) 遺伝リスク

- 50歳以下で亡くなった3親等以内の血族が2名以下であること
- 本人と3親等以内の血族の家族歴から、特定の遺伝性疾患、先天性疾患、難病指定の疾患における家族歴がないこと

(6) 倫理観

- 生命倫理観を持ち、社会的配慮があること。精子提供における倫理観について自分の意見をもっていること

当院の精子提供者の条件

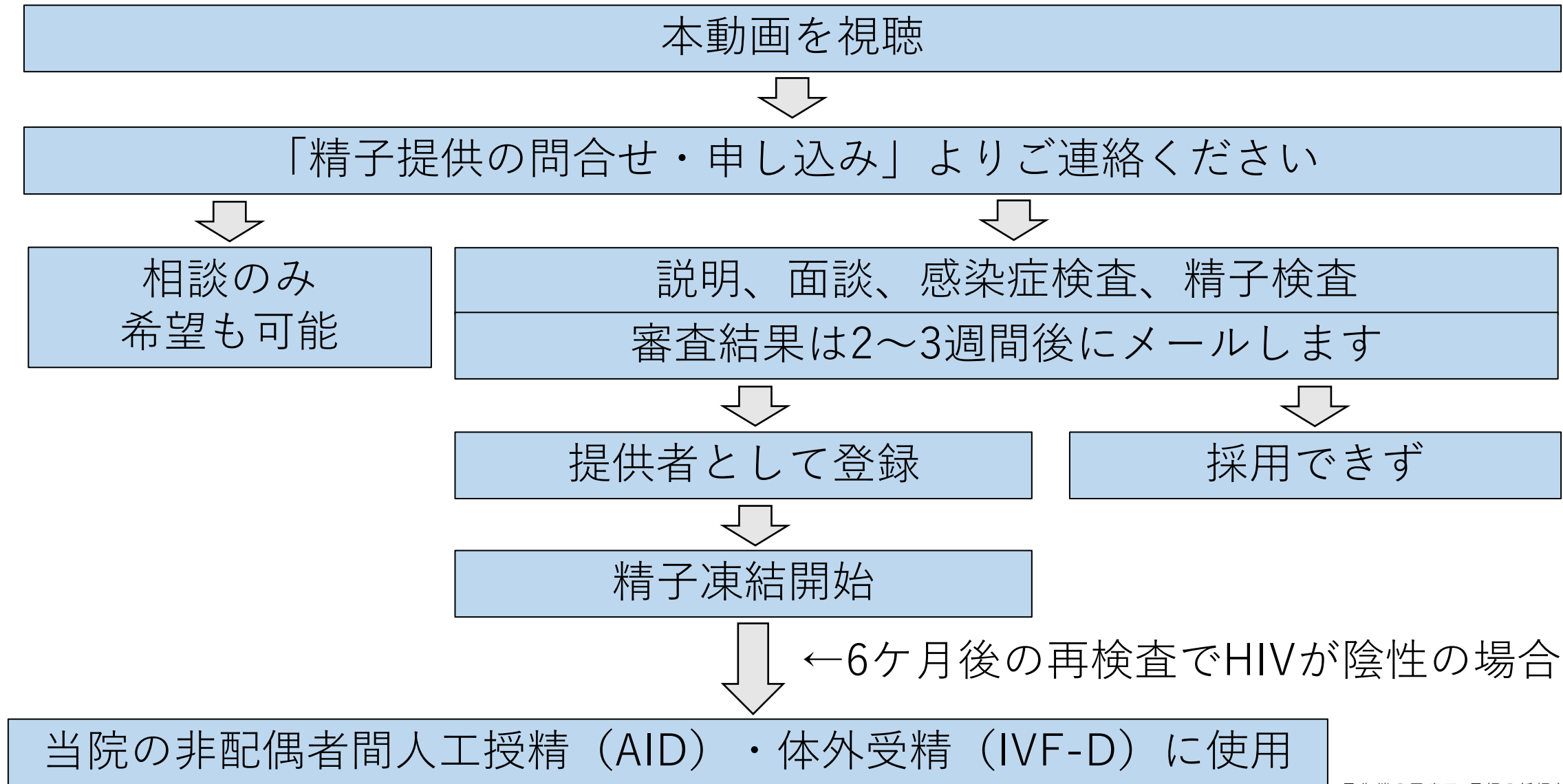
(7) 精神面

- 精神疾患の既往がないこと、安定していること
- 当院で健康調査を受けること

(8) その他

- 他の精子バンクで精子凍結をしていないか、他の精子バンクで既に精子の凍結をしている場合はその凍結バイアル数が2バイアル以下であること
- 配偶者がある者は、配偶者の同意も必要とすること

精子を提供するまでの流れ



* 精子提供している間は半年ごとに感染症検査を継続実施

最先端の医療で、最短の妊娠を

精子を提供するまでの流れ

本動画を視聴



の問合せ・申し込み」よりご連絡いただく

説明、面談、感染症検査、精子検査
審査結果は2～3週間後にメールします

提供者として登録

採用できず

精子凍結開始

←6ヶ月後の再検査でHIVが陰性の場合

当院の非配偶者間人工授精（AID）・体外受精（IVF-D）に使用

* 精子提供している間は半年ごとに感染症検査を継続実施

最先端の医療で、最短の妊娠を

 はらメディカルクリニック

精子を提供するまでの流れ

本動画を視聴



「精子提供の問合せ・申し込み」よりご連絡ください



説明、面談、感染症検査、精子検査

審査結果は2～3週間後にメールします



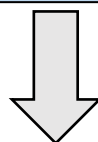
提供者として登録



採用できず



精子凍結開始



←6ヶ月後の再検査でHIVが陰性の場合

当院の非配偶者間人工授精（AID）・体外受精（IVF-D）に使用



* 精子提供している間は半年ごとに感染症検査を継続実施

最先端の医療で、最短の妊娠を

精子を提供するまでの流れ

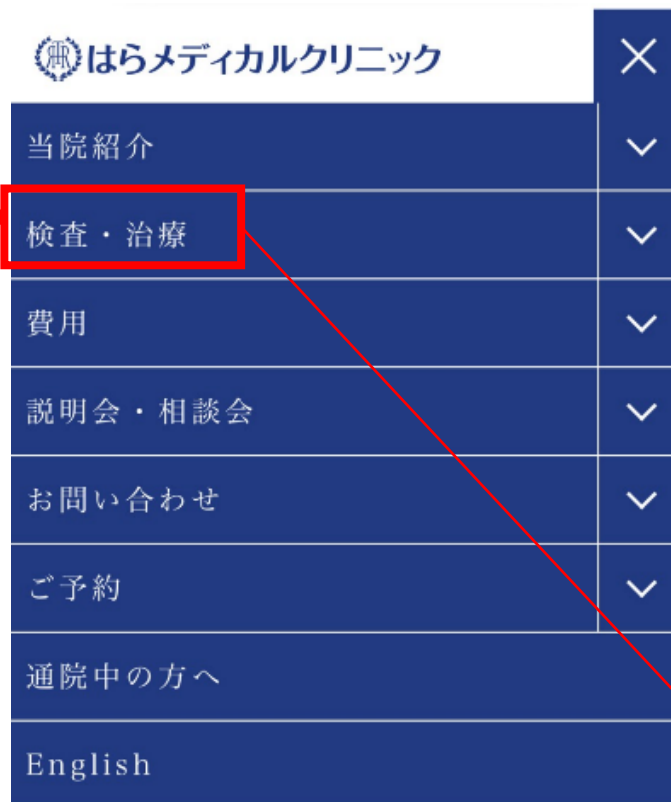
「精子提供の問合せ・申し込み」のサイト上の場所



新型コロナウイルス感染予防対策による
診療体制



ご不明な点がありましたらお問い合わせください



最先端の医療で、最短の妊娠を

精子を提供するまでの流れ

本動画・HPの確認



「精子提供の問合せ・申し込み」よりご連絡ください



相談のみ
希望も可能



説明、面談、感染症検査、精子検査

審査結果は2～3週間後にメールします



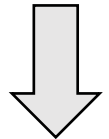
提供者として登録



採用できず



精子凍結開始



←6ヶ月後の再検査でHIVが陰性の場合

当院の非配偶者間人工授精（AID）・体外受精（IVF-D）に使用

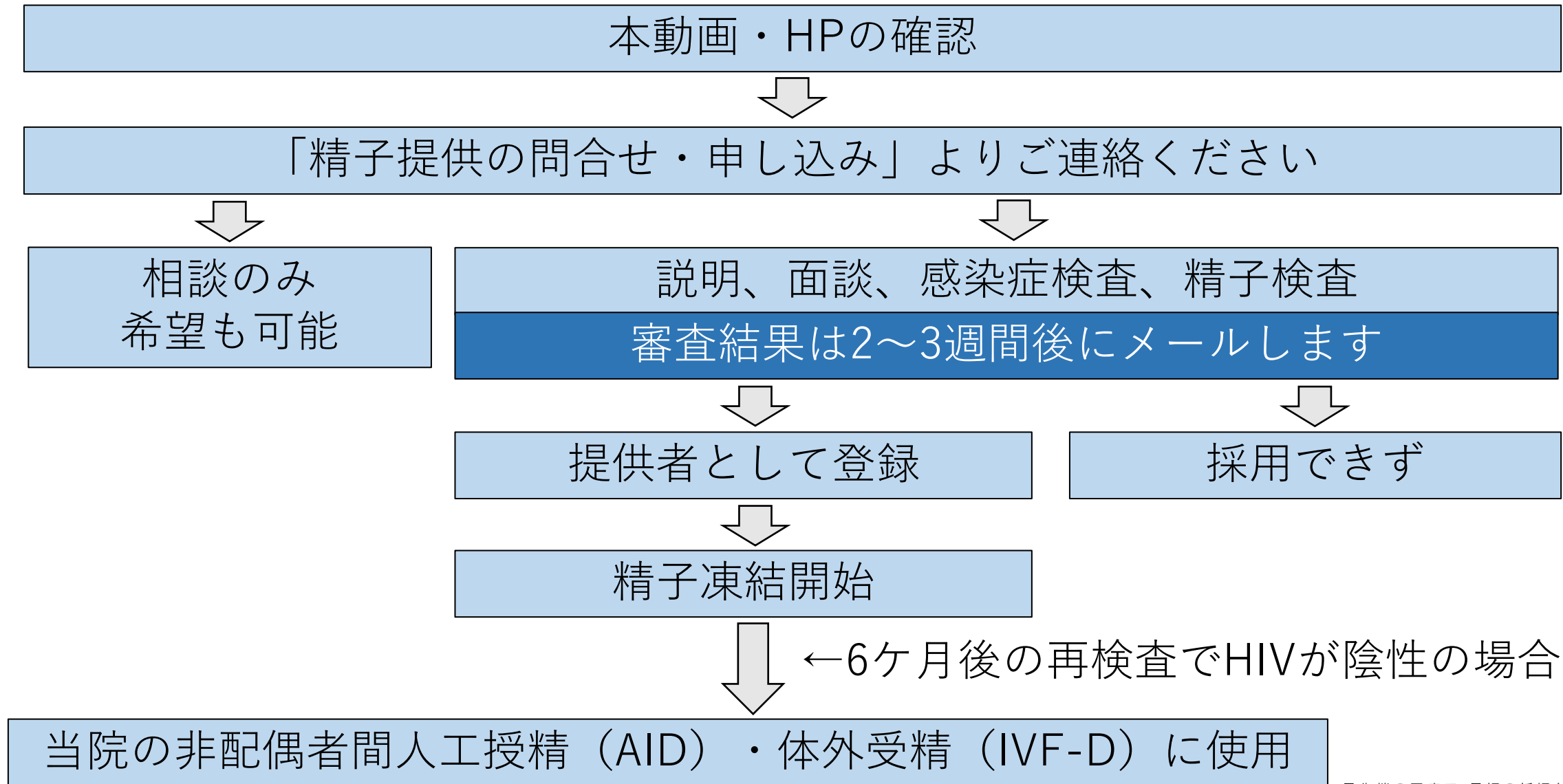
* 精子提供している間は半年ごとに感染症検査を継続実施

最先端の医療で、最短の妊娠を



はらメディカルクリニック

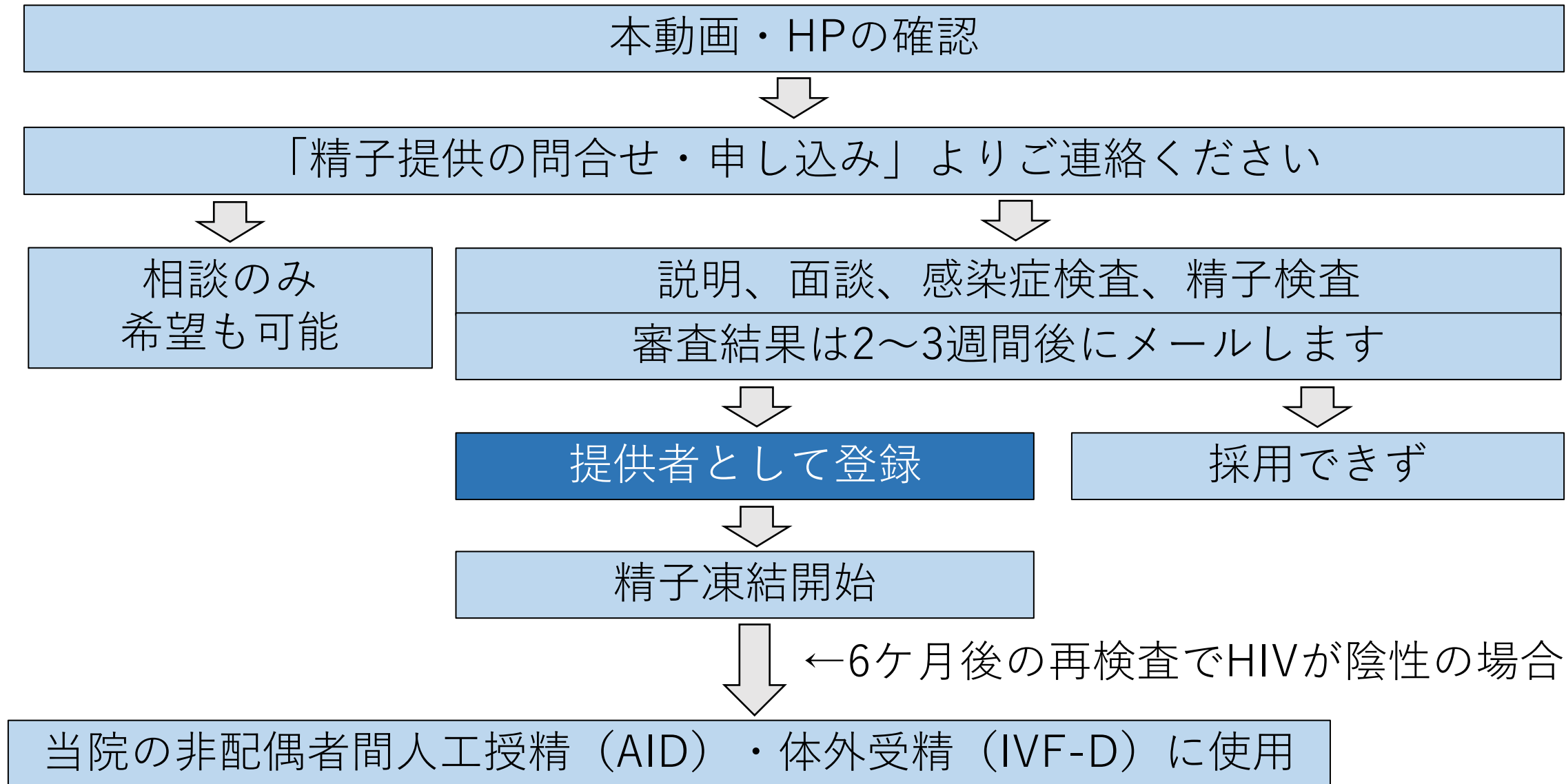
精子を提供するまでの流れ



* 精子提供している間は半年ごとに感染症検査を継続実施

最先端の医療で、最短の妊娠を

精子を提供するまでの流れ



* 精子提供している間は半年ごとに感染症検査を継続実施

最先端の医療で、最短の妊娠を

精子を提供するまでの流れ

本動画・HPの確認



「精子提供の問合せ・申し込み」よりご連絡ください



相談のみ
希望も可能



説明、面談、感染症検査、精子検査
審査結果は2～3週間後にメールします



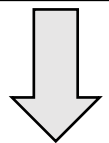
提供者として登録



採用できず



精子凍結開始



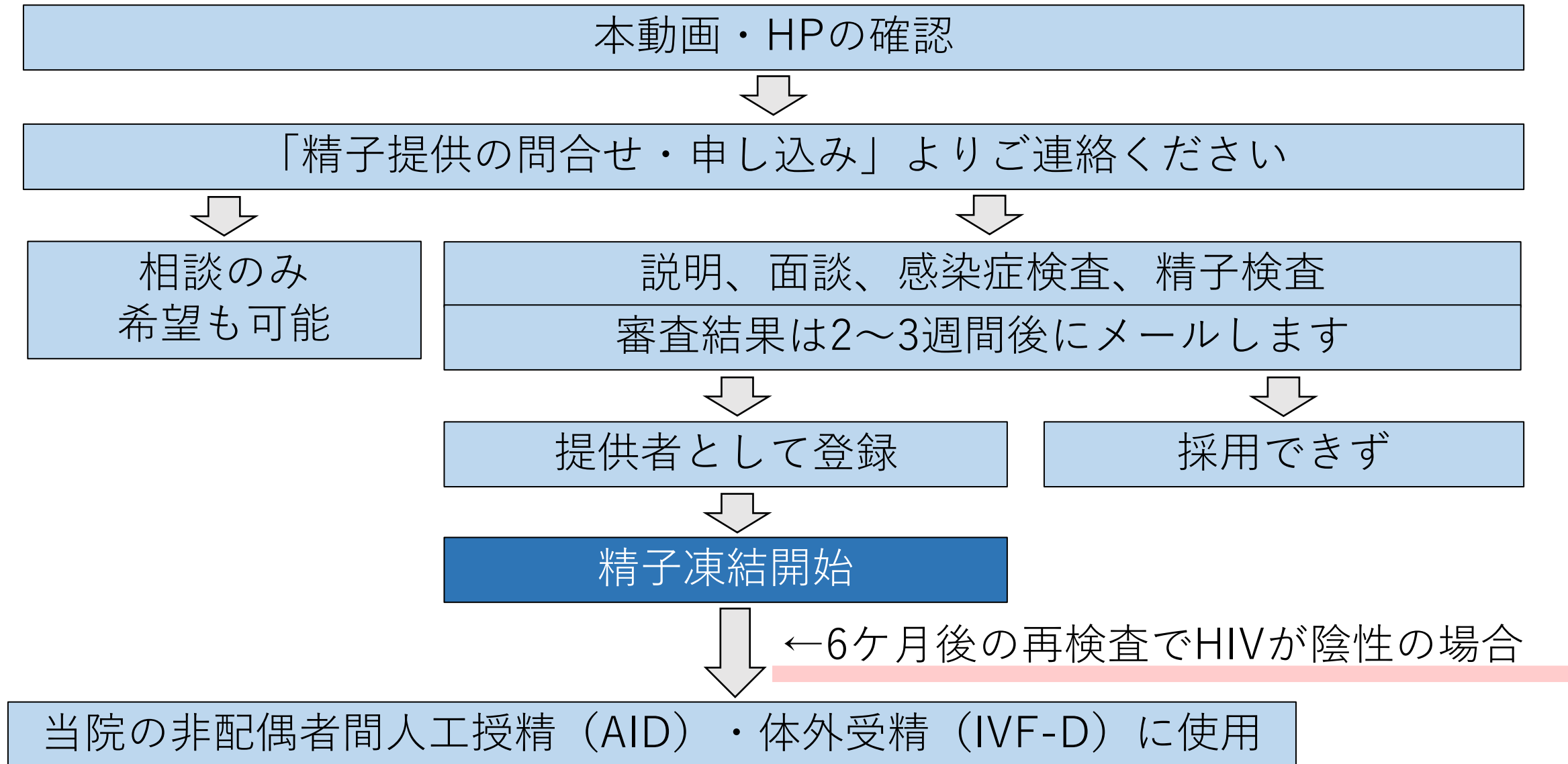
←6ヶ月後の再検査でHIVが陰性の場合

当院の非配偶者間人工授精（AID）・体外受精（IVF-D）に使用

* 精子提供している間は半年ごとに感染症検査を継続実施

最先端の医療で、最短の妊娠を

精子を提供するまでの流れ



* 精子提供している間は半年ごとに感染症検査を継続実施

最先端の医療で、最短の妊娠を

精子を提供するまでの流れ

本動画・HPの確認



「精子提供の問合せ・申し込み」よりご連絡ください



相談のみ
希望も可能



説明、面談、感染症検査、精子検査
審査結果は2～3週間後にメールします



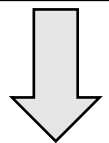
提供者として登録



採用できず



精子凍結開始



←6ヶ月後の再検査でHIVが陰性の場合

当院の非配偶者間人工授精（AID）・体外受精（IVF-D）に使用

* 精子提供している間は半年ごとに感染症検査を継続実施

最先端の医療で、最短の妊娠を

精子提供者が行う匿名・非匿名の選択



最先端の医療で、最短の妊娠を

精子提供者が行う匿名・非匿名の選択

これまで

日本では、約70年以上前から精子提供による生殖医療がはじまり、これまで匿名で行われてきました。精子提供者が匿名なのは日本産科婦人科学会の会告によるものです。

現在

一方で、この医療で生まれる子どもの福祉として、出自を知る権利が議論されています。

最先端の医療で、最短の妊娠を

精子提供者が行う匿名・非匿名の選択

当院の考え

- 提供精子による生殖医療は、精子提供者がいてはじめて成り立つ医療です。
- 精子を提供してくださる方に匿名か非匿名かの選択をしていただきます。
- 精子提供者は不足しています。匿名であっても、非匿名であってもこの医療を望む夫婦を助けることに繋がります。
- 精子提供により、実費相当分のお礼をしますが、それは匿名でも非匿名でも同様です。



精子提供者が行う匿名・非匿名の選択

匿名

非匿名

氏名・生年月日・住所などの個人情報については、当院から【治療をする夫婦】と【生まれる子ども】の両方に開示することはありません。

生まれる子どもが18歳以上になり、精子提供者について知りたいと思った時、

匿名の場合、一切の接触はありません

非匿名の場合

①少なくとも1回は、メール・電話・手紙・直接会う、のいずれか1つ以上を行うことを約束

②氏名や生年月日などの個人情報について開示するかどうかは、①以降に提供者と子どもの相互合意で決めましょう。

精子提供者が行う匿名・非匿名の選択

非匿名

生まれる子どもが18歳以上になり、精子提供者について知りたいと思った時、

①少なくとも1回は、
メール・電話・手紙・直接会う、のいずれか1つ以上を行うことを約束



流れ

STEP1：子どもが精子提供者に接触したい理由とタイミングが適切であるかどうかについて、臨床心理士によるカウンセリングを実施の上、倫理委員会にて検討します。

精子提供者が行う匿名・非匿名の選択

非匿名

STEP 2：子どもと当院の間で「子どもと精子提供者の接触に関する契約を締結」

- 接触（メール・電話・手紙・直接会う）に際する、注意点など
- 子どもが希望する接触方法を伝えるが、精子提供者がその対応が難しと判断する場合は、他の方法になる場合があること
- 子どもは、提供者の権利や生活を尊重すること

最先端の医療で、最短の妊娠を

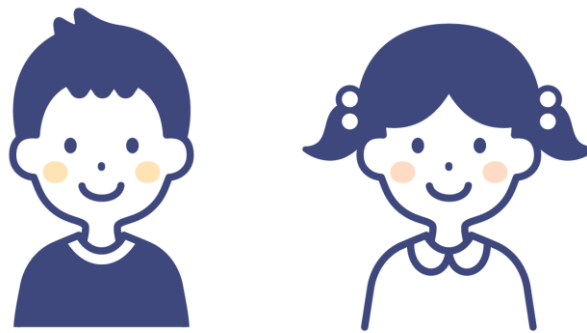
精子提供者が行う匿名・非匿名の選択

非匿名

STEP 3：当院から精子提供者に連絡し、接触方法を決定します。
その後、接触を行います。

- 当院から精子提供者に連絡の際は、子どもの今の生活や、提供者にどんな気持ちを抱いているかなどをお伝えします。
- 両者が直接会うことを希望する場合、その場所は可能な限り当院内で実施することを推奨します。また、子どもか、精子提供者のいずれか一方でも希望がある場合には、当院スタッフが立ち会います。

1人の精子提供者から生まれる子どもの数



最先端の医療で、最短の妊娠を

 はらメディカルクリニック

同一提供者からの出産数の制限

同一の精子提供者からの出生児数は10人を超えないこととする。
日本産婦人科学会より

同一提供者からの出産数の制限

精子提供による生殖補助医療で生まれた子どもは、提供者とそのパートナーの子ども（将来、生まれる子どもも含めて）と半分血のつながった子ども同士ということになります。

近親婚をできるだけ避けるために

- ✓ 当院においては、出産児数が2人になった時点で精子の提供を終了していただきます。その時点で凍結が完了している精子は、10人を超えない範囲で使用します。
- ✓ 精子の提供は、いつでも自由な意思でやめることができます。

精子提供者へのカウンセリング



最先端の医療で、最短の妊娠を



はらメディカルクリニック

カウンセリングの提供

精子の提供を行うかどうか、あるいは、精子提供による子どもが生まれた後に、様々な悩みを持つことがあります。

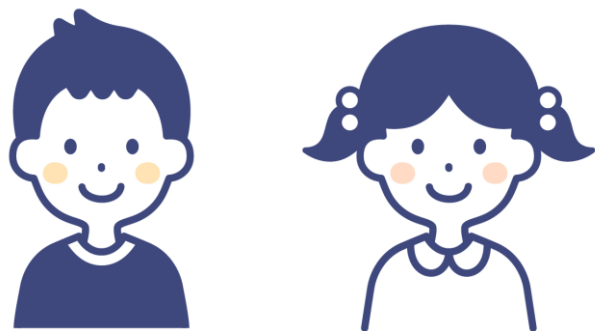
当院では、そのような様々な悩みについての相談窓口として生殖医療専門の臨床心理士のカウンセリングを用意しています。

- ・ 1回目のカウンセリングは無料で提供いたします。
- ・ 2回目以降は、3,850円（70分）です。

ご相談をご希望の場合は、お電話でご予約ください。

最先端の医療で、最短の妊娠を

精子提供で生まれる子どもたち

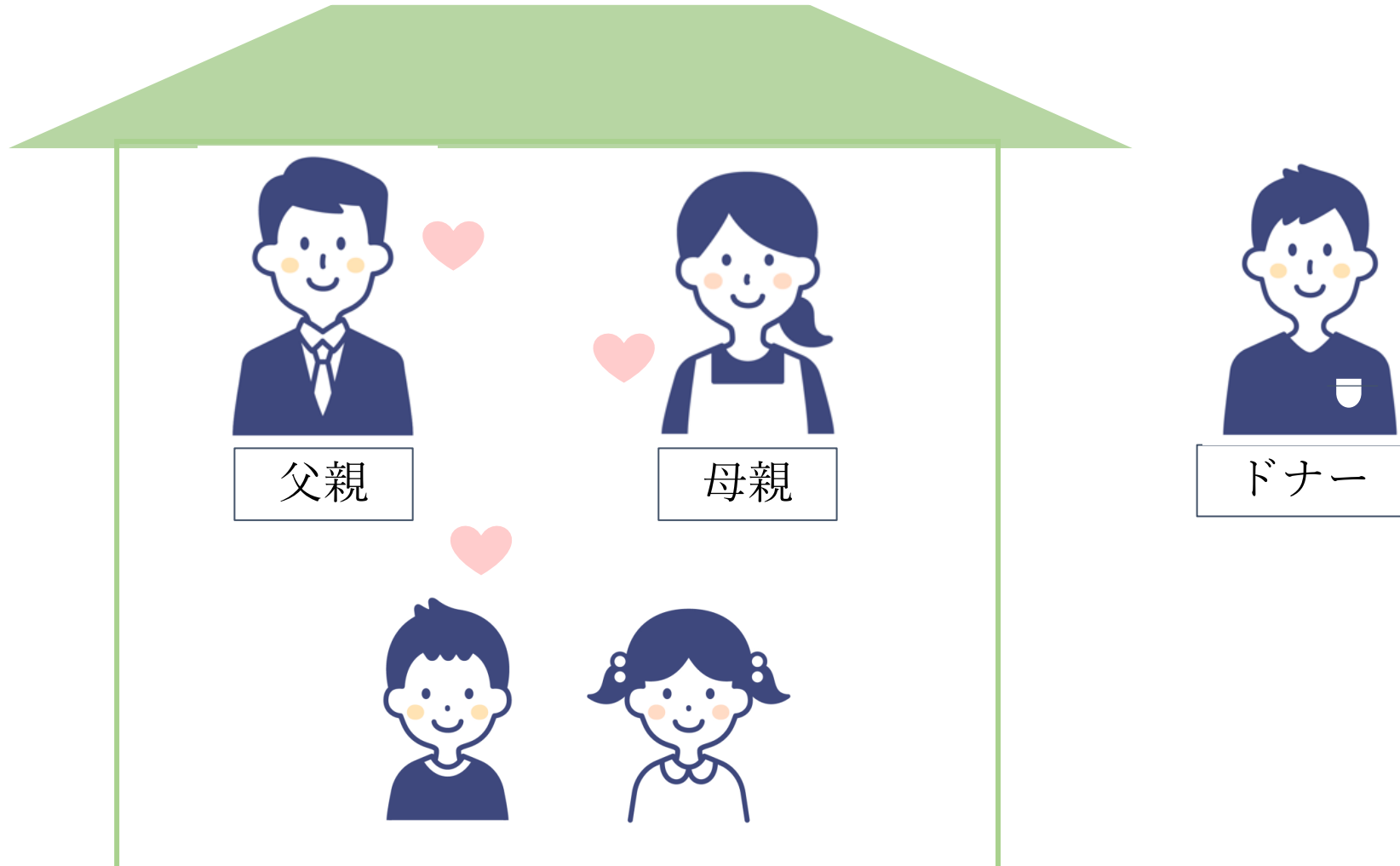


最先端の医療で、最短の妊娠を

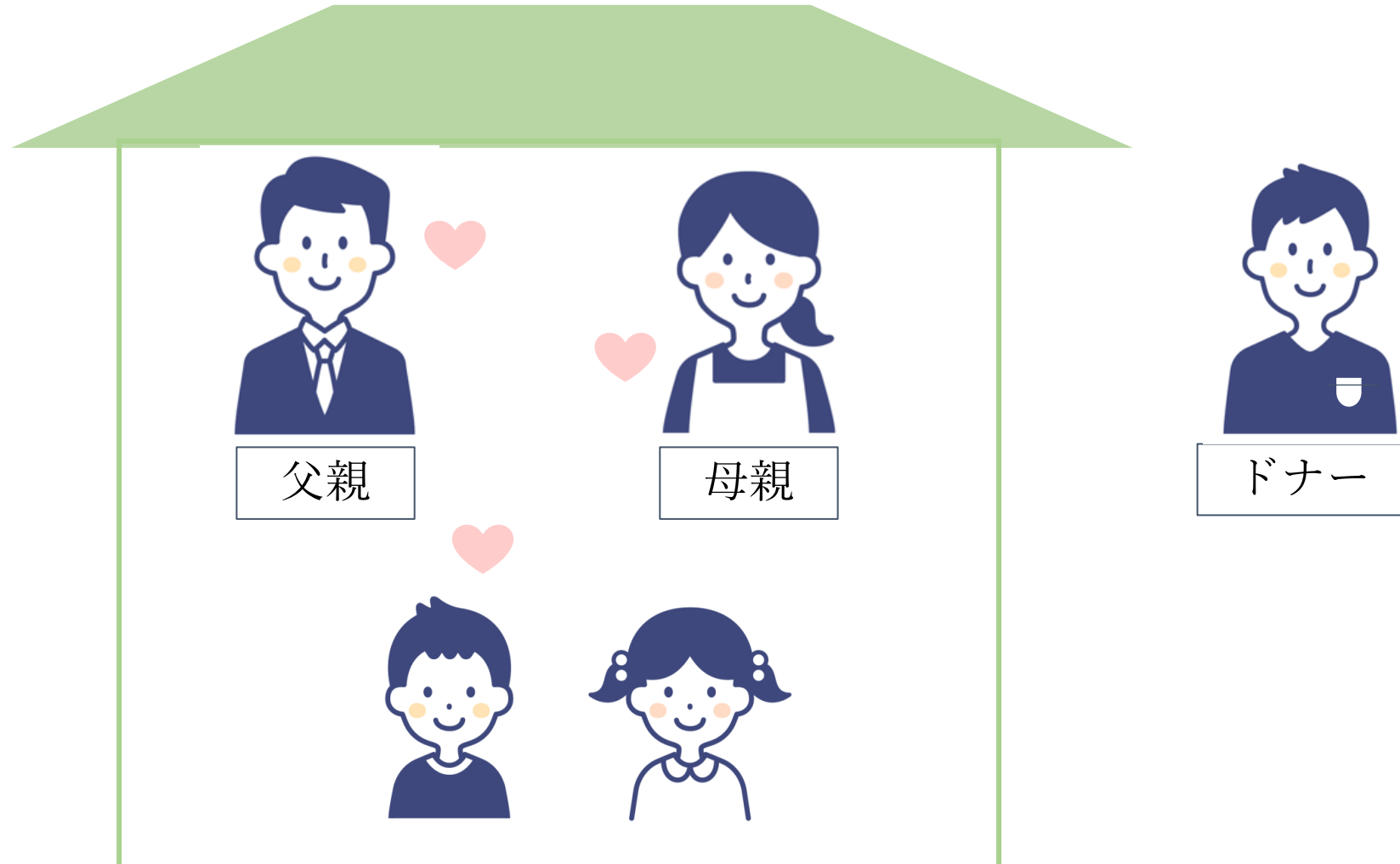


はらメディカルクリニック

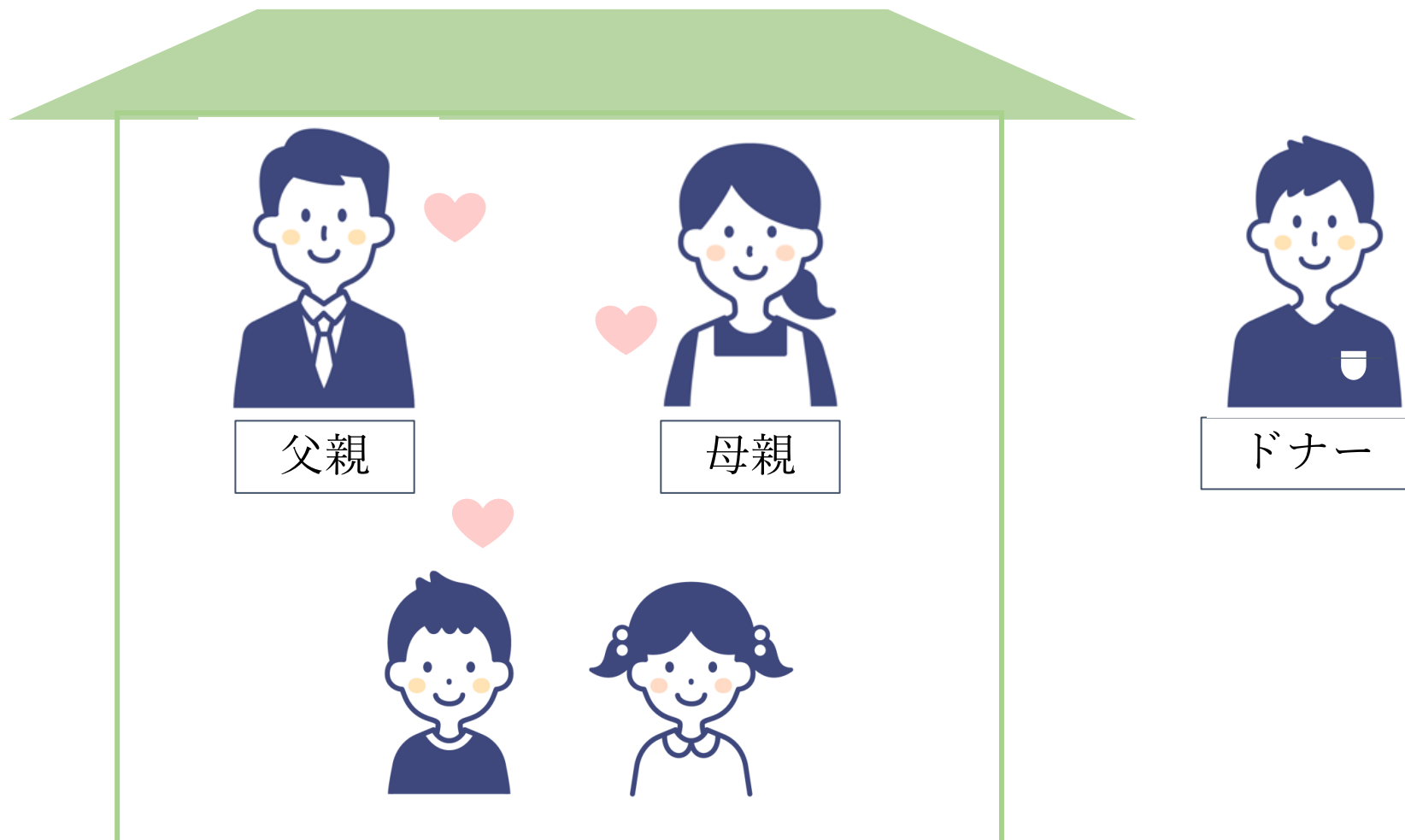
多くの夫婦は、子どもが1～2歳の頃から、子どもが誕生するまでの物語を話します。「パパが子どもを作るもとを持っていなかったのに、あなたを生むために助けてくれた優しいお兄さんがいるのよ」



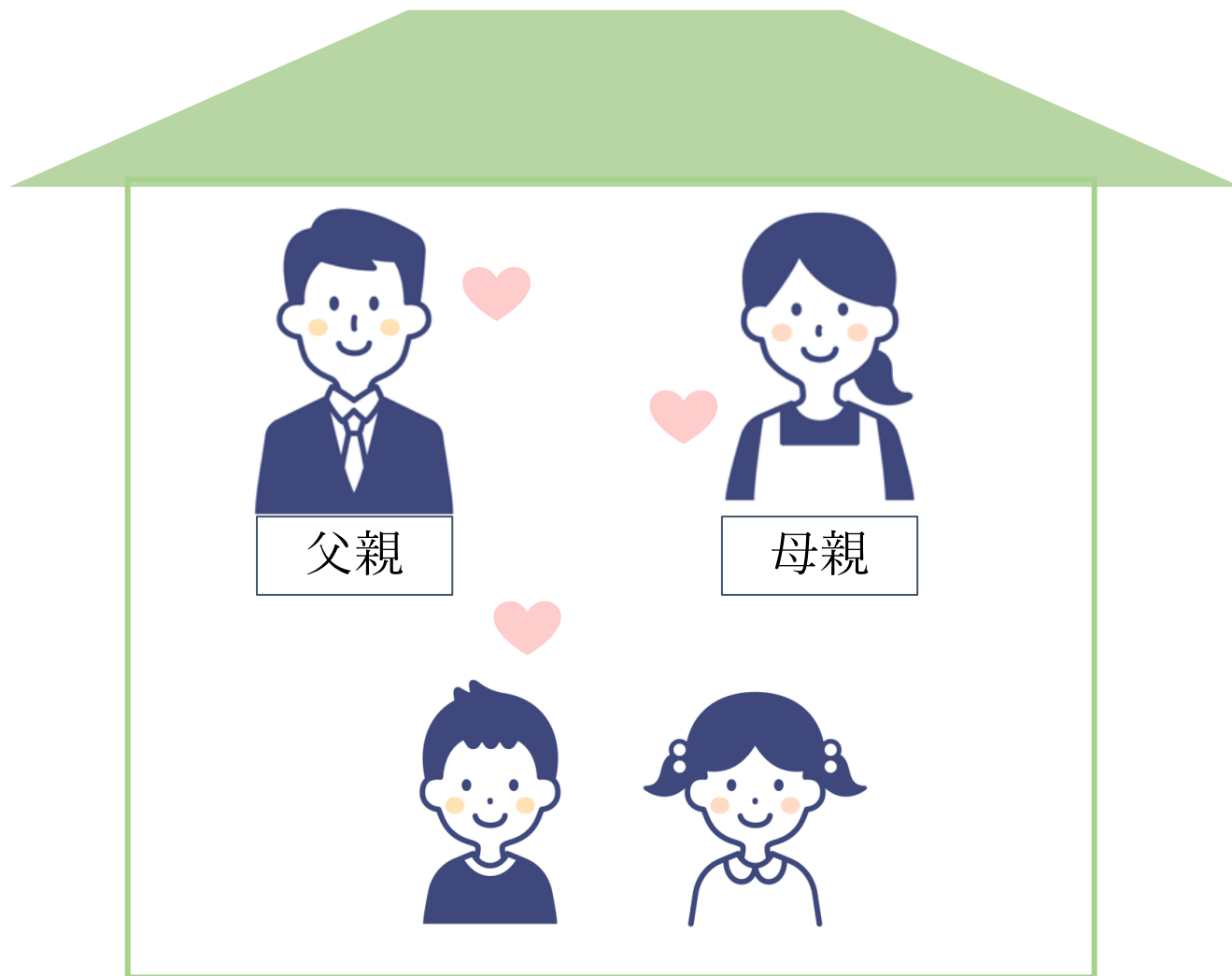
親は、子どもたちに、何年もの時間をかけて物語を少しずつ話していきます。だから、子どもたちは自然と提供者に感謝し、パパとママと提供者の3人が望んで自分が生まれたことを嬉しいと感じます。



子どもたちはいずれ、自分の身体的特徴が気になる年頃になります。その時、自分の一部が提供者と似ているとわかると、安心します。自分は「精子」というモノから生まれたのではなく、提供者の優しさの中で生まれたということを感じられるからです。



子どもたちが肯定感をもって成長できるように、成長の過程で親から伝えてあげたいことがあります。



身長・体重

簡単な体の特徴

職業

趣味

国籍

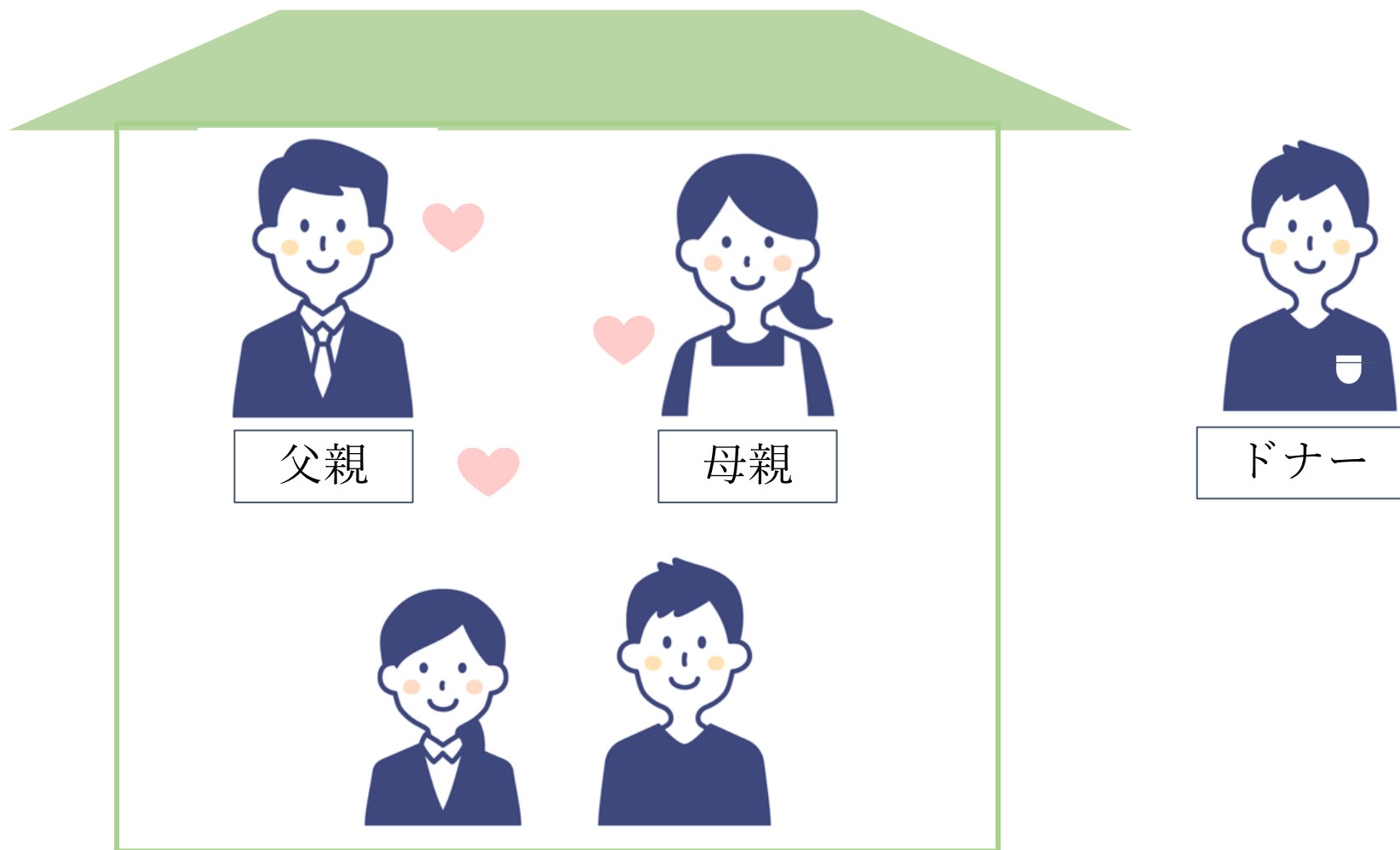
血液型

病気・遺伝情報

精子提供をして下さる理由

最先端の医療で、最短の妊娠を

子どもが、18歳以上になり、大人になると、自分のルーツを知りたくなるかもしれません。知らなくてもいいと思うかもしれません。



その頃、あなたにも大切な家族がいるかもしれません。



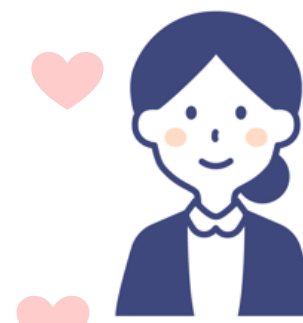
父親



母親



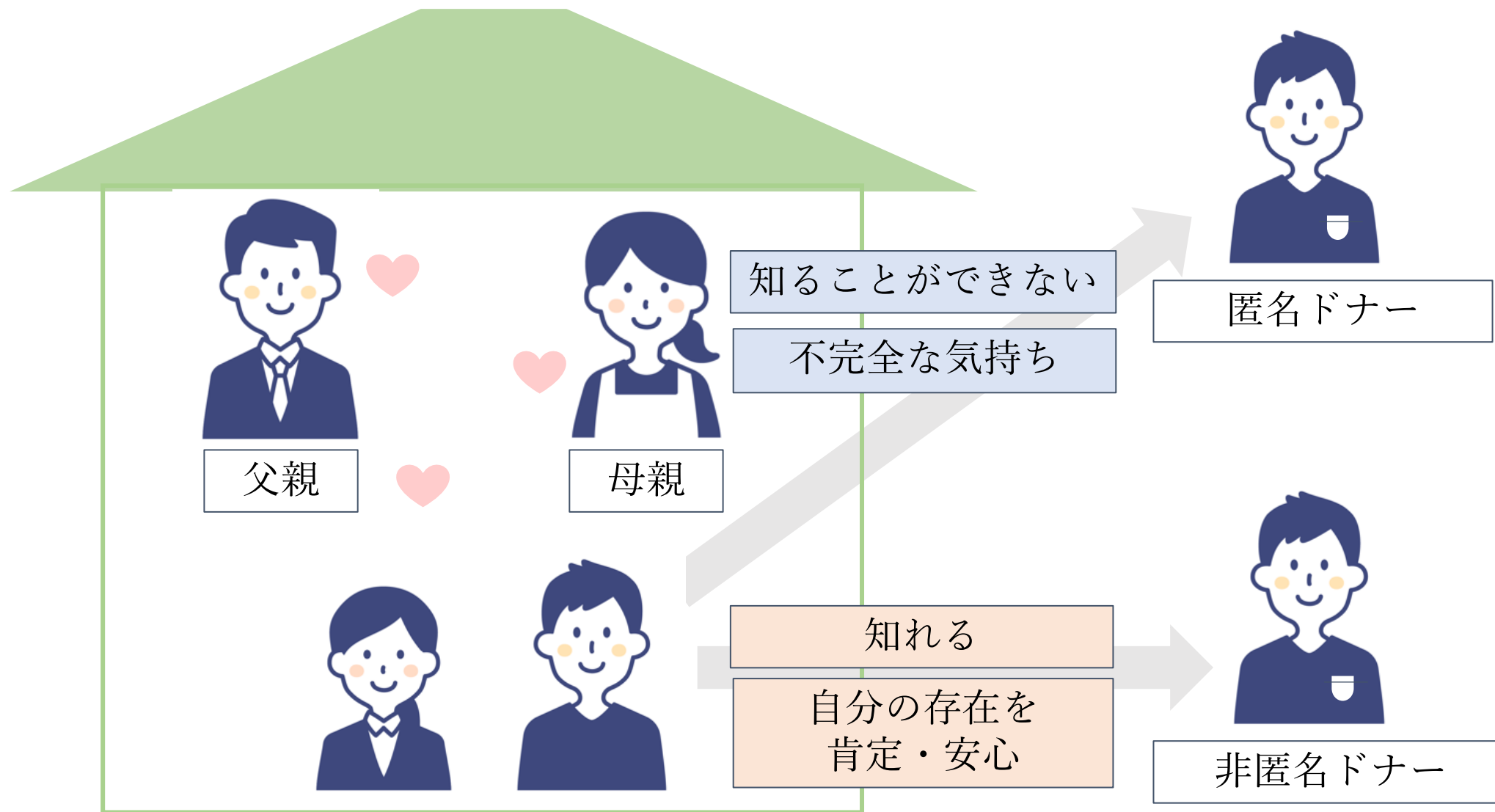
あなた



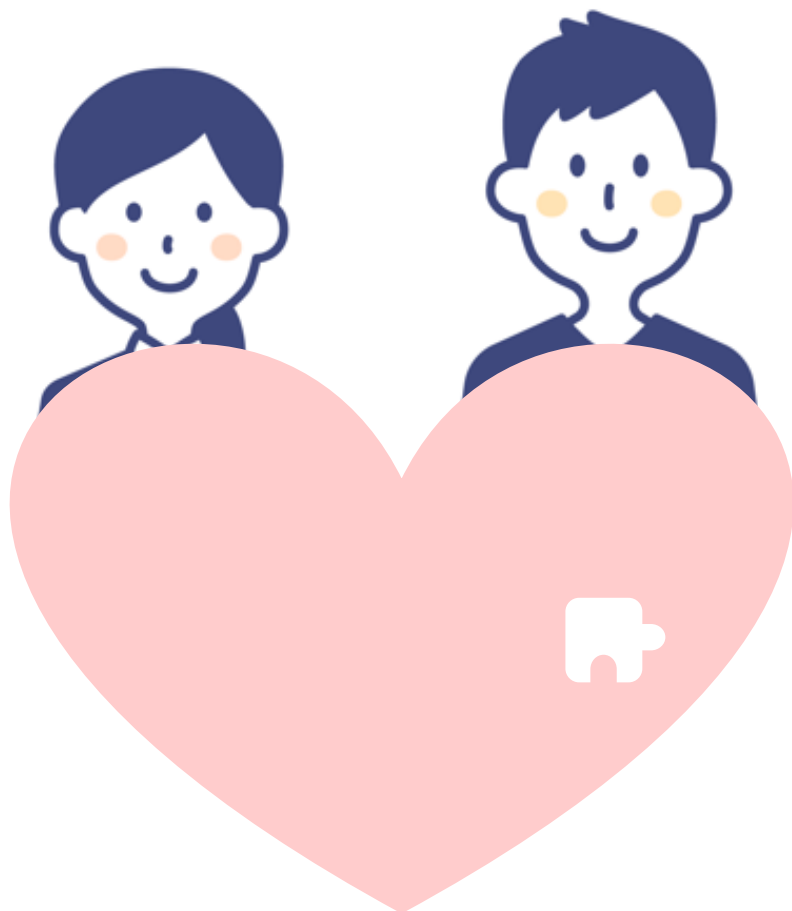
奥様



生殖医療で生まれた子どもが、自分のルーツを知りたいと思った時に
知ることができたら、子どもたちは安心できます。

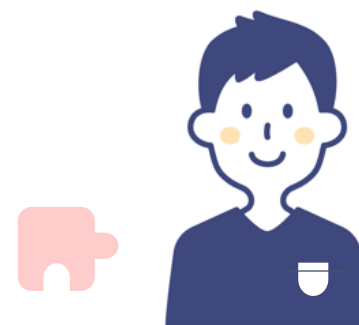


子どもたちが精子提供者を知りたいと思うのは、1か所だけ空いている心のパズルを埋めたいから



自分の存在をできるだけ肯定的に受け止めたいから。

精子提供者が非匿名の場合、その事実だけでパズルは埋まることもあります。



ドナー

最先端の医療で、最短の妊娠を

もし、可能であれば、非匿名での提供をご検討ください。
精子提供は誰にとっても隠すべきことではありません。

治療を受けた夫婦



- ・子どもを持てた喜び
- ・ドナーへの感謝
- ・子どもに真実告知をする責任

治療で生まれた子ども



- ・嘘のない家族で育った信頼感、自信
- ・自分の誕生を応援してくれたドナーは大切な存在。

ドナー



- ・不妊で苦しむ夫婦を助けた功績を残す
- ・自分の人生への自信

困ることがあったら、はらメディカルクリニックに相談する

子どもを持ちたいと考える人の希望が叶う社会 生まれた子どもの福祉が大切にされる社会の実現

あなたの思いやりが、次の世代に繋がっていく



多様性のある社会へ

精子提供者の注意点



最先端の医療で、最短の妊娠を



はらメディカルクリニック

精子提供者の注意点

1. 精子提供者は医療の一端を担うことを常に意識し、安易な発言や行動を慎むよう心掛けてください。
2. 精子提供時には、自身の健康や体調を管理してください。
精子提供の前は2～3日間の禁欲期間を設けてください。
3. 1年ごとに凍結された精子の使用同意確認をメールにて行います。返信のない場合は、同意の継続とみなし、精子の使用を継続いたします。

精子提供者の注意点

4. 精子提供者の「匿名」「非匿名」については、一度決定した後も初回凍結精子の使用までの間に限り変更できます。
5. 精子の提供後にその同意について気持ちが変わった場合は、当該精子の使用前であれば撤回することができます。
6. 同意の撤回にあたっては、本人確認が可能な書類を提出の上、医師の前で撤回書類に署名していただきます。
7. 提供精子の使用状況に関する問合せはできません。

あなたの選択によって、今不妊で苦しんでいる人を
救うことができるかもしれません。

一方で、どこかで自分の血を引く子が生まれているかも
しれません。

またそのことがあなたに影響を及ぼすかもしれません。

今一度よくお考えの上、決断をされてください。

ご不明な点はお気軽にお問合せください。

最先端の医療で、最短の妊娠を



はらメディカルクリニック